

平成22年度 国立大学法人福岡教育大学 年度計画

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置

- 1) - ① - 1 ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを策定し、カリキュラムの体系性・系統性を検証する。
- 1) - ① - 2 学部・大学院の人材養成目的や教育体制を点検するとともに、将来構想の検討を開始する。

- 1) - ② 受験生の志望動向やその他入試に関連するデータを収集・分析するとともに、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえてアドミッション・ポリシーを点検・整備する。

- 1) - ③ - 1 初年次教育の充実の観点から、フレッシュマンセミナーの教育内容・教育効果を点検し、改善方策を策定する。
- 1) - ③ - 2 体系的な教養教育プログラムの開発について検討する。

- 1) - ④ - 1 教育実習の内容・方法・実施体制について点検し、改善方策を検討する。
- 1) - ④ - 2 教職実践演習における履修カルテの作成・活用について点検する。
- 1) - ④ - 3 現場体験のための新たなプログラムの開発について検討する。

- 1) - ⑤ - 1 キャリア支援科目及びキャリア支援講座について内容・方法・実施体制を点検する。
- 1) - ⑤ - 2 学部及び大学院におけるキャリア支援に関する学生のニーズを把握する。

- 1) - ⑥ 「学生ボランティア支援システム（VSS）」に関わって、教員・事務職員の協働体制の構築や、講座等におけるボランティアコーディネイト機能の充実について検討する。

- 2) - ① - 1 シラバスの適切性・活用の観点から、講座における「教育内容・方法に関する検討会」や修士課程におけるシラバス・チェック等が有効に機能しているか点検する。
- 2) - ① - 2 GPA制度の活用方法について点検し、改善策を検討する。

- 2) - ② 成績評価基準策定のための学士課程共通のガイドラインを作成する。

- 2) - ③ 卒業生に対するカリキュラム・授業内容に関する調査、及び教育委員会や学校その他就職先に対する卒業生の資質能力に関する調査について、その方法や実施体制を確立する。

- (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置
- 1) - ① 「教育的ニーズを集約・活用し教育内容に反映するシステム」の機能を実質化させるため、定期的な外部評価のシステムについて検討する。

- 1)－② 「宗像市教育委員会、福津市教育委員会、宗像地区小・中学校と福岡教育大学との連携事業連絡協議会」における連携協力体制のもとで新たな取組を検討するとともに、同様の体制を他の地域にも拡充する可能性を探る。
- 1)－③ 教員間の協働性を高めることのできる相互啓発・相互研鑽型の研修等について企画する。
- 1)－④ 教育支援・学習支援機能の向上を図るために、附属図書館及び各種センターの業務・組織のあり方を検討する。

(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- 1)－① 学生支援の充実のために、「学生情報総合システム」、「キャリア支援システム(CSS)」、「学生ボランティア支援システム(VSS)」等について、教員と事務職員の協働による活用方策を検討する。
- 1)－②－1 就職率・教員採用率の向上を目指し、全学の取組方針を明確化するとともに、コース等ごとに講座・教員による支援体制を構築する。
- 1)－②－2 教員採用試験・公務員試験対策等を充実させる。
- 1)－②－3 採用試験等のための学生の自主的活動を継続的に支援する体制を整備する。
- 1)－③ 教育実習における学生のメンタルヘルス支援のための全学的体制を強化する。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置

- 1)－① 教育を中心とする現代的諸問題の解決を指向する研究テーマを設定し、学内プロジェクトを立ち上げる。
- 1)－②－1 「宗像市教育委員会、福津市教育委員会及び宗像地区小・中学校と福岡教育大学との連携事業連絡協議会」のほか、地域の教育委員会との間で共同研究のテーマの設定に向けて、連携研究推進部門を立ち上げる。
- 1)－②－2 講座や個々の教員レベルとの連携研究の実態を把握し、その成果が適切に社会に還元されるようにサポートする方策を検討する。

(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置

- 1)－①－1 教育研究の活性化に関するプロジェクトの充実策を検討する。
- 1)－①－2 学内研究プロジェクトの公募から成果発表までのプロセスを検証する。
- 1)－②－1 附属学校を活用した研究を推進するための大学の基本方針を策定する。
- 1)－②－2 教育学部・附属学校共同研究会議の充実に向けて現状の問題点等を明らかにし、改善に着手する。

- 1)－③－1 サバティカル制度の運用について検証する。
- 1)－③－2 若手・女性教員の研究費や研究時間の確保等の支援策を立案するプロジェクトを立ち上げる。
- 1)－④－1 電子ジャーナルを安定的に供給し利用促進を図るため、現状と課題を明らかにする。
- 1)－④－2 各センターの研究支援機能を点検し、課題を明確化する。
- 1)－⑤－1 学内で公募・採択した研究プロジェクトの成果の多様な形態・方法による公開を推進する。
- 1)－⑤－2 大学院生の研究発表を促進するための支援策について検討する。
- 1)－⑤－3 教員の教育研究活動に関する情報を積極的かつ効果的に提供するため、「教員総覧」を点検・改善し、研究成果のデータベース化に向けて作業を進める。

3 その他の目標を達成するための措置

(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置

- 1)－① 「福岡教育大学人材バンク」と「教員総覧」との連携システムの構築について検討する。
- 1)－②－1 教職大学院のカリキュラムの現状を把握し、改善について検討する。
- 1)－②－2 教員免許状更新講習の実施状況を把握し、その内容・方法等について検討する。
- 1)－②－3 その他のリカレント教育のあり方について、検討を開始する。
- 1)－③ 「宗像市教育委員会、福津市教育委員会、宗像地区小・中学校と福岡教育大学との連携事業連絡協議会」のほか、地域の教育委員会との事業を通して、学校教育が抱える課題への取組の連携協力を強化する。

(2) 国際化に関する目標を達成するための措置

- 1)－①－1 国際交流の窓口を一元化するとともに、外国語能力や国際交流コーディネーターの資質・能力を有する職員の育成・配置に向けて体制を整備する。
- 1)－①－2 国際交流・国際貢献の活性化や留学生支援のために必要な資金の充実について検討する。
- 1)－②－1 派遣留学生、受入留学生の修学の実態を調査し、その現状及び課題を明らかにするとともに、今後の教育・支援に関する改善策について検討する。
- 1)－②－2 受入留学生のための宿泊施設整備等の支援体制について検討する。

(3) 附属学校に関する目標を達成するための措置

- 1)－① 先進的モデルの提示をめざし、重点的な課題をテーマとした授業研究会や公開授業等を企画・実施する。
- 1)－②－1 大学との組織的な研究協力体制を強化する。

1) - ② - 2 大学と附属学校、教育委員会、教育関係機関、地域の学校との連携協力体制の構築を図る。

1) - ③ 大学と共同で教育実習について検証し、実施内容・方法及び大学における授業・指導等の改善について検討する。

1) - ④ 附属学校の運営について、教育委員会等と意見交換を行うとともに、「国立大学附属学校の新たな活用方策等について」に基き、現状と課題について検討する。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

1) - ① 学長が大学運営方針を設定し、それに基づく運営計画を策定して、実行する。

1) - ② 効率的で責任ある運営体制の確立に向けて、教職員の負担軽減や管理運営コストの削減、委員会等の再編を検討し、運営組織のスリム化を図る。

1) - ③ - 1 監査の独立性を確保する内部監査体制を整備する。

1) - ③ - 2 法人化第1期の監査における指摘事項で未解決のものを大学運営の改善に反映させる。

1) - ④ 経営協議会学外委員や外部有識者等の意見等を大学運営のために活用する組織を設置する。

2) - ① - 1 「定員管理方針」や学長裁量による重点的な人員配置について検討する。

2) - ① - 2 教育研究組織の編成を点検するとともに、事務支援体制について検討する。

2) - ② 育児・介護支援及びワーク・ライフ・バランスの推進方策について検討する。

2) - ③ - 1 専門職能を高める人材の養成方策について検討する。

2) - ③ - 2 「事務系職員研修基本方針」及び「事務系職員研修基本計画」を更新し実施するとともに、各種の支援方策を継続して実施する。

2 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

1) - ① 業務運営の内容を整理し、効率化を図りながら、運営組織のスリム化をめざした事務組織を構築する。

1) - ② 現行の各種業務システムや業務プロセスを点検・改善する。

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- 1) - ① 教育研究組織における外部資金獲得のための取組とこれを支援する体制について検討する。
- 2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置
- (1) 人件費の削減に関する目標を達成するための措置
 - 1) - ① 教職員全体を視野に入れた「定員管理方針」を検討のうえ、人件費シミュレーションに基づき、平成 23 年度の「定員運用方針」を策定する。
 - (2) 人件費以外の経費の削減に関する目標を達成するための措置
 - 1) - ① 省エネルギー対策や温室効果ガス削減等の環境保全対策の推進による経費削減策について検討する。
 - 1) - ② 財務情報を分かりやすい形で公表する方法について検討する。
- 3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置
- 1) - ① 土地・建物スペースの特性に応じた個別的な有効活用計画を策定・実施する。
- IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置
- 1 評価の充実に関する目標を達成するための措置
- 1) - ①-1 自己点検・評価の企画立案部門と評価部門が一体となる組織体制について検討する。
 - 1) - ①-2 学校教育法に基づく自己点検評価の体制を充実させる。
 - 1) - ② 評価情報・手順の精選と簡素化を図る。
 - 1) - ③ 教員活動評価及びその活用について点検し、改善策を検討する。
- 2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置
- 1) - ①-1 広報活動の実情と効果について分析し、改善の方向性を明らかにする。
 - 1) - ①-2 大学広報ムービーの制作を充実し、大学ホームページを活用した情報公開を推進する。
 - 1) - ② データベースの効率化及び入力の省力化について検討する。
- V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置
- 1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置
- 1) - ①-1 「情報セキュリティポリシー」及び「情報基盤整備計画」の改定について検討し、実施する。
 - 1) - ①-2 教育・研究用電子計算機システムの更新について検討する。
 - 2) - ① 施設管理・運営を計画的に行うとともに、個々の施設・設備等の特性に応じバリアフリー化・アメニティ向上等の計画を策定する。
- 2 安全管理に関する目標を達成するための措置

- 1) - ① 全学的な危機管理体制の充実及び安全教育の推進について改善する。
- 1) - ② 就業支援のための適切な環境を整え、過重労働の防止を推進するとともに、メンタルヘルスの維持・向上のための方策を充実させる。
- 1) - ③ 登下校及び学校における安全確保・防犯・防災等の対策を強化するため、施設・設備の点検・改修を行うとともに、全附属学校共通の安全管理体制の構築等について検討する。

3 法令遵守に関する目標を達成するための措置

- 1) - ① 国立大学法人としての社会的責任を踏まえたコンプライアンスに関する基本方針を策定する。

VI 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
別紙参照

VII 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

10 億円

2 想定される理由

運営費交付金の受け入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要な対策費として借り入れることが想定されるため。

VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

1. 重要な財産を譲渡する計画

- ・ 附属小倉小中学校の土地の一部（福岡県北九州市小倉北区下富野三丁目 1050 番 5 号 392.00 m²）を譲渡するための取組を開始する。

2. 重要な財産を担保に供する計画

- ・ 該当無し

IX 剰余金の使途

- 決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

X その他

1. 施設・設備に関する計画

（単位 百万円）

施設・設備の内容	予定額	財 源
・（赤間）ライフ ライン再生事業	総額 73	施設整備費補助金 (44)
・小規模改修		国立大学財務・経営センター施設費交付金 (29)

注) 金額は見込みであり、上記のほか、業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や、老朽度合い等を勘案した施設・設備の改修等が追加さ

れることもあり得る。

2. 人事に関する計画

- (1) 「定員管理方針」や学長裁量による重点的な人員配置及び教育研究組織の編成を点検するとともに事務支援体制について検討する。また、育児・介護支援及びワーク・ライフ・バランスの推進方策について検討する。
- (2) 大学教員については、教員活動評価及びその活用について点検し、改善策を検討するとともに、次の取組を行う。
 - ・教員間の協働性を高める相互啓発・相互研鑽型の研修等を企画する。
 - ・サバティカル制度の運用について検証する。
 - ・若手・女性教員の研究費や研究時間の確保等の支援策を立案するプロジェクトを立ち上げる。
 - ・教育研究組織における外部資金獲得のための取組とこれを支援する体制について検討する。
- (3) 事務職員については、次の取組を行う。
 - ・専門職能を高める人材の養成方策について検討する。
 - ・「事務系職員研修基本方針」及び「事務系職員研修基本計画」を更新し実施する。
 - ・職能開発に資する各種の支援方策を実施する。

(参考1) 平成22年度の常勤職員数 439人
また、任期付職員数の見込みを2人とする。

(参考2) 平成22年度の人件費総額見込み 3,990百万円
(退職手当は除く)

(別紙)

- 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画

(別表)

- 学部の学科、研究科の専攻等の名称と学生収容定員、附属学校の収容定員・学級数

(別紙)予算, 収支計画及び資金計画

1. 予算

平成22年度 予算

(単位:百万円)

区分	金額
収入	
運営費交付金	3,655
施設整備費補助金	44
補助金等収入	0
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29
自己収入	1,877
授業料, 入学金及び検定料収入	1,801
財産処分収入	0
雑収入	76
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	100
長期借入金収入	0
目的積立金取崩	0
計	5,705
支出	
業務費	5,532
教育研究経費	5,532
施設整備費	73
補助金等	0
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	100
計	5,705

[人件費の見積もり]

期間中総額3,990百万円を支出する。(退職手当は除く)

(うち, 総人件費改革に係る削減の対象となる人件費総額3,262百万円)

注)「運営費交付金」のうち, 平成22年度当初予算額3,613百万円, 前年度からの繰越額のうち使用見込額42百万円

注)「施設整備費補助金」のうち, 前年度からの繰越額44百万円

2. 収支計画

平成22年度 収支計画

(単位:百万円)

区分	金額
費用の部	5,765
経常費用	5,765
業務費	5,336
教育研究経費	869
受託研究経費等	54
役員人件費	63
教員人件費	3,323
職員人件費	1,027
一般管理費	283
財務費用	1
雑損	0
減価償却費	145
臨時損失	0
収入の部	5,765
経常収益	5,765
運営費交付金収益	3,592
授業料収益	1,612
入学金収益	218
検定料収益	61
補助金等収益	0
受託研究等収益	55
寄附金収益	44
施設費収益	44
財務収益	0
雑益	76
資産見返運営費交付金等戻入	44
資産見返補助金等戻入	3
資産見返寄附金戻入	16
資産見返物品受贈額戻入	0
臨時利益	0
純利益	0
目的積立金取崩益	0
総利益	0

3. 資金計画

平成22年度 資金計画

(単位:百万円)

区分	金額
資金支出	5,853
業務活動による支出	5,546
投資活動による支出	160
財務活動による支出	0
翌年度への繰越金	147
資金収入	5,853
業務活動による収入	5,633
運営費交付金による収入	3,656
授業料・入学金及び検定料による収入	1,801
受託研究等収入	55
補助金等収入	0
寄附金収入	45
その他の収入	76
投資活動による収入	73
施設費による収入	73
その他の収入	0
財務活動による収入	0
前年度よりの繰越金	147

別表（学部・学科、研究科の専攻等）

教育学部	初等教育教員養成課程 1,120人 中等教育教員養成課程 500人 特別支援教育教員養成課程 150人 障害児教育教員養成課程 50人 共生社会教育課程 240人 環境情報教育課程 230人 生涯スポーツ芸術課程 230人
教育学研究科	教育科学専攻 160人 （うち修士課程 160人） 教職実践専攻 40人 （うち専門職学位課程 40人）
特別支援教育特別専攻科	特別支援教育専攻 30人
言語障害教育教員養成課程 （臨時教員養成課程）	20人
附属福岡小学校	480人 学級数 12
帰国子女教育学級	45人 学級数 3
特別支援学級	24人 学級数 3
附属小倉小学校	480人 学級数 12
附属久留米小学校	480人 学級数 12
附属福岡中学校	360人 学級数 9
特別支援学級	24人 学級数 3
附属小倉中学校	360人 学級数 9
附属久留米中学校	360人 学級数 9
附属幼稚園	90人 学級数 3